

(様式—1) 信濃川下流工事施工研究発表会

1	表題(課題)名	海上作業における場所打ちコンクリート施工の工夫	
2	工事(業務)名	金衛町第2号ヘッドランドその2外工事	
3	受注者名	株式会社 皆川組	
4	工期	令和 5年 4月 3日 ~ 令和 5年 11月 14日	
5	担当技術者(立場)名	現場代理人	(あら ひでゆき) 荒 英行
6	担当主任監督(調査)員	関屋出張所長	
7	課題区分名	④コスト縮減 (—————)	
8	工事(業務)概要	新潟市中央区関屋地先のブロック制作ヤード内にて岸壁となる場所打ちコンクリートを施工した。	

9 【施工における 課題・問題点 等】

本工事における堤防護岸(場所打ちコンクリート)は、岸壁築造工事ということで直接波浪の影響を受ける工事である。

また、海面から躯体底面まで50cm前後での施工であったため、波浪の影響が懸念された。

そのため海象の影響を考慮し、臨機に対応する必要があった。

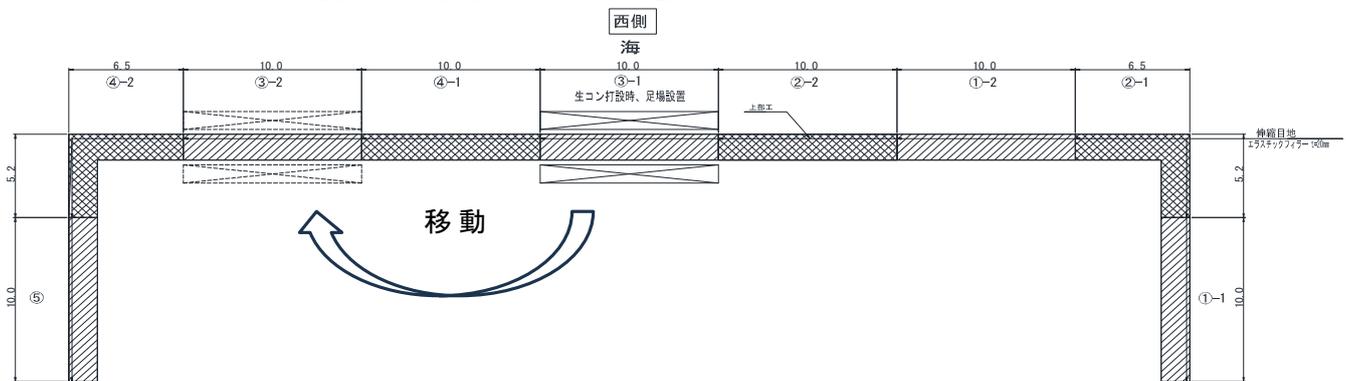
実際に施工中、波浪の影響で躯体下部の鋼管杭を超えてくることもあり、強固に取付た支保工(ブラケット式)が3回ほど破壊されたり、組立てた鉄筋を一時撤去する事案もあった。

10 【実施内容】

上記のことから短期・中期の海象を予想し、全9スパンある躯体を隔、躯体2スパン毎に分け1サイクルずつ臨機に施工した。

(支保工-鉄筋-型枠-足場設置-生コン打設-足場撤去) = 1サイクル

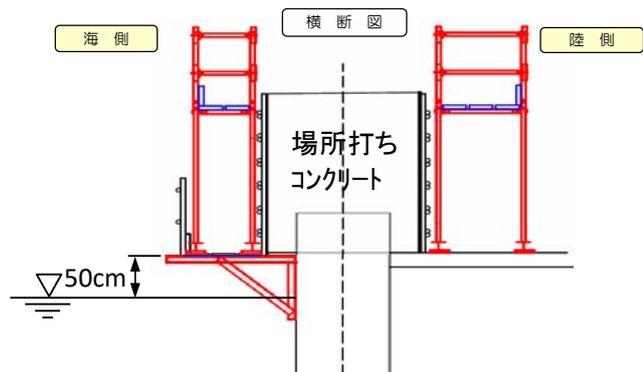
- ・足場を1スパンの延長で組立て、大枠で移動できるような構造とした。
- ・支保工については養生期間を考慮し4スパン施工した。



11 【実施結果】

これにより足場を1スパン両面2基分を陸上で組立て、クレーン100t吊にて必要時に設置・撤去することで海象の影響を最小限に抑えることができた。

また、足場の組立て・解体の工程を大幅に縮減し、波浪による足場損壊のリスクを縮減できた。



(様式—2)

【実施内容等】



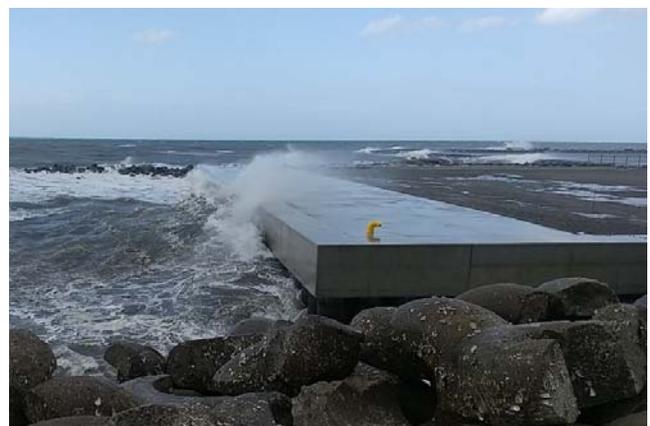
足場設置状況



足場設置完了



足場使用状況



波浪の様子